

2025年度 ラブ基金報告

当連盟では、スポーツを通じた社会活動の一環として1991年より「国連難民救援募金」を、1993年より「ALT基金」募金を行ってきました。2013年よりこの両者を統合した「ラブ基金」による募金活動を行っています。2025年度の募金総額は、2,448,800円でした。募金をお寄せ頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

ラブ基金の寄贈先

国連UNHCR協会

国連UNHCR協会 ミャンマー地震緊急支援



左/「シリア
での冬の物資
の配布」

下/「スーダンで
のプラスチック
シートの配布」

@UNHCR



立位テニス国際大会(TAP JAPAN OPEN 2025)・日本障がい者立位テニス協会



JASTA提供 撮影=泉仁志

TAP JAPAN OPEN 2025 (障がい者立位テニス国際大会)
千葉県成田市 (重兵衛スポーツフィールド中台テニスコート)

有明テニスの森公園東京2020オリンピック・パラリンピック記念碑

有明テニスミュージアム (旧宮城黎子記念・JTAテニスミュージアム) 基金



日本にテニス博物館を作りたいという宮城黎子さんの遺志を継ぎ、有明テニスの森公園にオープンした「有明テニスミュージアム」

日本ブラインドテニス連盟



第23回関東ブラインドテニス茨城オープン大会
(TAC取手グリーンスポーツセンター)
撮影=藤川裕子

デフリンピック日本代表チーム 激励金



左から/杉本選手、菰方選手、武正会長、小泉副会長
日本ろう者テニス協会森本理事長
(大会初日、有明テニスの森公園にて)

ラブ基金News Vol.6

東京2025デフリンピック テニス競技 日本デフテニス史上初の金メダルを獲得！

2025年11月16日～25日、有明テニスの森公園にて「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」のテニス競技が行われた。デフリンピック初開催（1924年のパリ大会）から100周年の節目に、日本で初めて開催された今大会で、日本チームは金・銀・銅の3個のメダルを獲得した。



日本チーム集合写真（有明コロシアムにて）

女子シングルス入賞者

3位 菰方里菜

女子ダブルス入賞者

1位 鈴木・菰方組

2位 杉本・宮川組



女子シングルス準決勝
写真右端が菰方選手

選手から応援してくれた皆様へ

今大会は、私たち選手だけでなく、応援して下さった皆さまの力によって、デフリンピックが大いに盛り上がり、素晴らしい経験をすることができました。今後もデフスポーツを応援していただけると嬉しいです。

デフリンピックとは？

デフリンピック（Deaflympics）とは、デフ（Deaf）＋オリンピック（Olympics）のことで、デフ（Deaf）とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。デフリンピックは国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」です

「有明テニスの森公園東京2020オリンピック・パラリンピック記念碑募金」のご報告

「有明テニスの森公園東京2020オリンピック・パラリンピック記念碑募金」総額は1,241,745円となりました。

この熊谷一弥氏の像は、東京2020オリンピック・パラリンピックを記念して、(公財)日本テニス協会、(公社)日本プロテニス協会、(公社)日本テニス事業協会、日本女子テニス連盟、テニス用品会の協力で作られ、東京都へ寄贈されたものである。

1920年8月アントワープ・オリンピック(ベルギー)にて熊谷一弥氏が日本選手として全競技で初めてのメダル(銀メダル)を獲得した。また、柏尾誠一郎氏と組んだダブルスでも銀メダルを獲得した。決勝戦で南アフリカのレイモンドに7-5 4-6 5-7 5-7で敗れ、後に「日本代表選手として勝つ可き仕合に敗れ、九仞の功を一簣に缺いた」と手記に残されている。日本を代表とする選手としての無念さとオリンピックにかけた思いを表す一文である。



有明テニスの森公園にある
「熊谷一弥の像」